

介護老人保健施設 いとうの杜
(静岡県伊東市)
施設長 加藤 訓久

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。
昨年、まさかコロナ禍と言わ

れるような現在の状況になるとは夢にも思っていませんでしたが、その中でスタッフ一同一丸となって活動して頂いた結果、超強化型へトランプを進めることが出来、昨年の目標であった、在宅と入所の介護のスタイルを少し構築出来たのではないかと思っております。

本年は現在の状況を維持しつつ、さらなる寄り添える介護の方法を模索・実行してまいりますと思っております。

早くこの禍が治まるのを願いつつ、当施設も一員として頑張っておりますので、今年もご指導・ご支援の程よろしくお願いいたします。

にも例年になく厳しい状態となり、一昨年、一気に進展した建て替えの計画も一旦中断せざるを得なくなりました。
ただ、6月以降、職員一丸となり感染対策をとりながら通常診療を行い、V字回復を遂げております。11月下旬に感染が発生してしまいましたが、厳しい状況下でも、職員は懸命に頑張っております。引き続き地域医療に貢献していきたいと思っておりますので、応援をよろしくお願いいたします。

豊川さくら病院
(愛知県豊川市)
院長 高岡 徹

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。
昨今のコロナ禍における医療事情と、それを取り巻く社会状況考えますと、手放して

祝賀気分とならないのが正直なところかもしれません。今年は皆様におきまして、試練の一年になるかも知れません。まだまだ新型コロナウイルスとの戦いは続くでしょう。『神様は乗り越えられない試練を与えない』と伺います。今こそ個人や組織の持つ地力が試されています。とにかく下を向かず前を向いて進んでいくことが大切なことかと信じます。共に協力し合って一歩一歩前進していきましょう。

介護老人保健施設 平成の森

(埼玉県川島町)
施設長 塚田 俊彦

新年明けましておめでとうございます

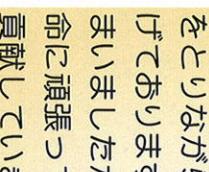


令和2年は新型コロナウイルス蔓延によるコロナショックの年でした。この騒動により我々は様々な不便を強いられました

が、同時に今まで当然とされていたやり方を見直す機会にもなりました。多くの学術集会在がオンライン開催となり、参加者は地理的時間的制約を受けない集会の利便性を体験しました。録画の準備など演者の労は少々増えましたが、自分の都合に合わせて聴きたい講演を聞きたい時に繰り返し視聴でき、発表内容をしつかり理解できる集会になりました。今後、質疑応答の方法などを改良すれば、集会の質はさらに高まると思います。我々もこのコロナショックで気づいたことを無駄にせず、業務の効率化につなげたいと思います。本年もどうぞよろしく願います。

介護老人保健施設 たんぼぼ
(愛知県豊川市)
施設長 鈴木 基博

新年のご挨拶を申し上げます



昨今の風潮で慶祝の儀礼は控えめに、の様子ですので簡略です。
2020年は正にコロナの一年で

した。年の瀬になり新型コロナウイルスの影響は当地に吹き荒れてまいりましたので、感染拡大のご地域の方々のご苦労は更にかと拝察いたしております。
さて、年も改まりましたので、幸多き年であることを願ってやみません。100年前のパ

ンデミック、スペイン風邪は収束まで2年少々掛かったとのことですが、当時に比べれば、不十分とはいえ治療法もあり今年中にはワクチンの接種も可能となるようですので早急な収束を期待するところです。
かように病疫、天変地異の繰り返しされる世の中になりましたが、我々職員一同、地域の一員として親しまれるよう努力してまいりますので、今年もご指導、ご支援を頂きますようお願い致します。

石巻ロイヤル病院
(宮城県石巻市)
院長 石橋 清人

新年明けましておめでとうございます



昨年は、年の始めより、思いもよらぬ新型コロナウイルスによる影響で、世界中が多大な被害を被りました。私たちも、日頃より大切に思っている方々との交流も思うに

まかせない現状で、我慢を強いられるところがあります。そのような中、今年の干支、丑(牛)は、「我慢(耐える)」や「発展の前触れ(芽が出る)」を象徴する干支だそうです。本年が、しかるべき我慢の後に、大きく飛躍する年となることを目指して、石巻地区におきましても、「志」を高<持ち、常にチャレンジ精神で、新たなステージに向けて、結果にこだわってまいりたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

吉祥寺南病院
(東京都武蔵野市)
院長 山下 重雄

新年のご挨拶 2021



新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしく願います。申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス対応に明け暮れ、あつという間の1年でした。

4月にはマスクやガウンなどの防護具も不足する状態となり、手術も延期、また、健診や内視鏡検査も完全ストップの状況となり、発熱患者の入院受け入れも厳しく病床稼働率も著しく低下する状態となりました。数字的

川島クリニック
(埼玉県川島町)
院長 高田 晋

新年明けましておめでとうございます



昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大で社会が大きく変化し、医療や介護のあり方にも大きな影響を与えました。在宅医療を行

っている当院においては、訪問診療を受ける患者さんが増加しております。在宅診療においてもコロナ感染拡大の影響を受けましたが、特に入院患者の面会制限は影響が大きく、「できるだけ最期を家族と過ごしたい」と在宅療養を希望する声が多くありました。看取りを行う上で、「最期の時間を家族とどう過ごすか」を考えさせられる1年となりました。

今年もより高い医療を提供できるよう精進していきたいと思います。今年も引き続き皆様方のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

今年もご指導、ご支援を頂きますようお願い致します。

